

ある日突然に

作者： NAO

2012年 3月 05日(月曜日) 09:47 -

おはようございます！

さて、NAOさんのブログの続きです！

では！

さてさて、ガキ大将だった私が

ある日からイジメられっ子に . . .

あのときの苦しさは今でも忘れませんよ

ある日の夕方、今日の昼まで
仲良く遊んでいた友達が、

突然、私に向かって、

拾われっ子！拾われっ子！

川の下で拾われたなお！

貧乏屋敷！

などと私に向かって大きな声で叫ぶんです。

私はなんのこっちゃ???

という感じですよ。

でも、悔しくてその場から走って逃げるように家に帰りました。

家に着くと私の目からは大粒の涙がこぼれていました。

私は、この一連のことを母親に話しました。

このシーンは今でもはっきり覚えています。

母親は、私の話を聞くと、
泣くじゃくりながら私に母子手帳を見せました。

そう、私は養子だったのです

川で拾われたわけではないのですが、

ある日突然に

作者： NAO

2012年 3月 05日(月曜日) 09:47 -

私は施設からこの養親に引き取られたそうです。

母親は私に向かって、

ごめんね . . .

ごめんね . . .

と詫びる

私の目からは大きな涙が溢れてましたね

ホント、この時は涙が止まらなかったですよ。

だって、自分の本当の親じゃないんだ

と告げられたのですから。

翌日から私はいじめにあいました。

ランドセルに犬の糞を入れられたり、
上履きをトイレ（当時、ポットン便所）に捨てられたり、
学校の帰りは友達に罵声をあびせられる日々だった . . .

昨日の昼間まではあんなに仲良く遊んでいたのに

私は友達も両親も全てが敵に見えましたね。

自分の見方なんかいないんだ！

と勝手に思い込んでいましたね

この時の私は、

誰も信じたくない . . .

俺はこの世に必要な人間なんだ . . .

と心で思っていました。

ホント、もう消えてなくなりたい！！！！！！

と毎日、思っていましたよ。

もちろん、死ぬことも考えた。

ある日突然に・・・・・・・・

作者： NAO

2012年 3月 05日(月曜日) 09:47 -

でもね・・・・・・・・

生きていれば本当に色々なことがありますよね。。。

でも、どんな人生であっても決して恥じる必要はないと思うんです。

たとえ、自分の人生に恥じたとしても、
何にも変わらないし、生まれ育った環境も変わらないですしね。

まあ、過ぎ去ったことはさっさと忘れて、

明日をどうやって楽しむか！？

だけを考えるのが一番ですよ！

きっとね

ではまた！！